

県民だより



◆今月の数字◆

◆県人口 (11月1日現在) ◆11月の物価指数 (50年を100とする)

男 1,681,885人	10月の出生 男 2,451人	総合 130.0
女 1,738,282人	女 2,328人	対前年比 +5.7%
計 3,420,167人	計 4,779人	対前年同月比 -0.3%
世帯数 965,252		

80年代 あなたの時代

あけましておめでとうございます。これからの八〇年代、行く道は厳しそうです。県は、こうした道をのりこえるため、みなさんの創意や提言をいただきながら新しい県づくり、地域づくりに取り組まします。地域の主人公はあなたです。さあ、スクラム組んでスタートしましょう。

希望にもえタツカル



厳しい「試験の時代」

いま始まった八〇年代は、これまでも増して厳しい試験の時代が予想されます。国際的には、石油を頂点とする資源エネルギー問題、発言力を増してきた発展途上の動き、日本製品への強い風当たりなど、厳しくかつ流動的の時代です。国内においても、本格的な資源有開時代の対応、産業構造の転換、急速に進みつつある高齢化社会への準備など多くの問題をかかえています。

「地方の時代」も本番

このような展望にたつて、県では、新しい時代にふさわしい地域づくりを、県政の中心にすえて、取り組んでいきます。数年前から「地方の時代」といわれ、各地でさまざまな取り組みがなされてきましたが、八〇年代は、この地方の時代の第二ラウンドです。単なるかけ声や議論は終わって、これからは、じっくりと中身をみ込んで充実させていかねばなりません。そのためには、それぞれの地域にふさわしい産業や文化、そして豊かで安全な生活の場づくりを、地域ごとに進めていくことが大切です。それにはみなさんの主体的参加が必要です。

盛り上がる住民運動

昨秋から、各地の振興センター単位で開かれた県民会議で、地域の問題は地域で考えよう、行政ができることは自分たちでやろう、自分たちでできることは自分たちでやろう、住民の立場とアイデアで住みよい地域を築こう、そして一歩進んで知的生産の場にしよう、あるいは、施設づくりにみんなの知恵を、といった幅広い意見や体験が熱心に語られました。また、富士山や浜名湖クリーン作戦の成功をはじめ、最近、地域環境の美化、自主防災組織の活動などを、住民のみなさん自身が計

画して進めるといふ、単なる参加から主体的に行動するケースが多く見られるようになりまし。こうした事例からも、みなさんの努力で、地域づくりは今、着実に動き始めているのがわかります。もちろん、県はこうしたみなさんの活動を、市町村とともに強力に応援していきます。

活力ある県づくり

県行政の内部では、徹底した行政の効率化を進めていきます。このため、昨秋以来「オートムレビュー」と名づけて進めてきた見直し作業の結果を十分生かして、緊急性の高い事業など思いきって廃止し、代わって県民の安全に直接かかわる東海地震対策や新しい時代を切り開く先導的業務には、集中的に力を注ぎ、さらに民間のすべりた創意工夫を積極的にとり入れながら、活力のある県づくりを進めていきます。

飛躍へ英知を結集

厳しい八〇年代ではありませんが、その中にも明るい光がさしています。それは、産業界の真剣な合理化や技術開発、あるいは各分野にわたって活躍されているみなさんの英知や創造力が、新しい時代の地域づくりに定着して、根を張り、花ひらき、豊かで住みよい地域となつて実を結びつづつあることがうかがえるからです。ともあれ、地域の主人公はあなたです。この静岡県に住むことをなによりも誇りにできるように、県もみなさんとともに、一層努力する年にしていきます。八〇年代が輝かしい二十一世紀への飛躍台になるよう、さあ、希望にもえ出ようではありませんか。(写真は清水南高ラグビー部員のご協力によりました)



労働専門講座を開きます

日時 二月十四日(水) 十三時～十六時
会場 静岡市市民文化会館
テーマ 「混迷の時代への対応をさぐる―八〇年代における春闘・労使関係」
方式 パネルディスカッション
講師 法政大学教授 舟橋尚道 労働評論家 矢加部勝美 朝日新聞論説顧問 江幡清
募集人員 二百人
受講料 無料
申込期限 一月三十一日(定員になり次第締め切り)
申込み 県庁労働課
問合せ先 県庁労働課
〇五四二(21)八〇七

国民年金の繰り上げと繰り下げ受給

老齢(通算)年金は六十五歳から受給することになっていますが、要件を満たせば、繰り上げ、繰り下げ六十歳から受けられます。しかし、この場合、年齢に応じて、表のように本来の年金額から一定割合で減額され、その減額は生涯続きます。取り消しはできません。また、六十五歳になる前に繰り下げ受給を希望した場合、年齢に応じて表のように年金額が増額されます(ただし通算老齢年金は除く)。

開始年齢	率
60	-42%
61	-35%
62	-28%
63	-20%
64	-12%
65	0%
66	+12%
67	+26%
68	+43%
69	+64%
70	+88%

県勢要覧

昭和五十四年版 六百円・送料不要
静岡県の産業、教育、その他あらゆる分野の統計をまとめたもの。二月上旬発行
申込先 各市町村の統計担当課または県庁統計課内静岡県統計協会
〇五四二(21)四二四

県政概要

昭和五十三年度版 二千八百円・送料二百円
県政一年のすべてを記録
申込先 県庁広報課内静岡県広報協議会
〇五四二(21)六七四七

県でまとめた本

アイディア自治 六百円・送料不要
市町村や自治会、消費者団体などが生み出したアイディア集
申込先 県庁市町村課内地方自治研究会
〇五四二(21)〇九六

子供の福祉をこころいしつとこまニ
無料・送料二百円
国際児童年の県民の集いの講話集
申込先 静岡市由金五一
三三〇 県社
会館協議会
〇五四二(21)二四八

県立高等職業訓練校 (中卒コース)生徒募集

募集人員 沼津高等職業訓練校 機械科、板金科、配管科(各二十人)
富士高等職業訓練校 板金科、左官科(各二十人)、自動車整備科(二十人)、自動車整備科(二十人)
静岡高等職業訓練校 配管科、経理事務科(各二十人)
藤枝高等職業訓練校 機械科、電気工事科(各二十人)、自動車整備科、左官科、木工科(各三十人)
浜松機械高等職業訓練校 機械科(三十人)、板金科、配管科(各二十人)
同校掛川分校 板金科、電気工事科(各二十人)
同校湖西分校 機械科(二十人)
浜松建設高等職業訓練校 建築科(二十人)、木工科(三十人)
同校森分校 建築科(二十人)

応募資格 原則として二十歳以下の方で、学歴を問いません
訓練期間 一年(森分校は二年)
募集期間 二月一日～十四日
書類は、各高等職業訓練校に提出
選考日 二月二十日(内おひき三月六日)

問合せ先 各高等職業訓練校 県庁職業訓練課
〇五四二(21)八二二

交通安全指導用フィルムのご利用

静岡県では、交通安全指導のための十六ミリ映画フィルムを貸し出ししております。
幼児、小中高生、青年、母親、老人向けなど約百六十本を用意し、無料でお貸ししています。ぜひ交通安全防止のため、各種研修会や合同等にご活用ください。映写機のご相談もお受けします。
問合せ先 県庁交通安全対策室
〇五四二(21)九八〇

